

C-Bio Conference

若手が送る宇大バイオ研究の最先端



C-Bio Conference

~若手が送る宇大バイオ研究の最先端~

ゲノミクス研究棟セミナー室

2011年2月24日(木) 10~17時

問い合わせ：028-649-5527

c-bio@cc.utsunomiya-u.ac.jp

<http://c-bio.mine.utsunomiya-u.ac.jp/>

Program

No	Time	Name		Title
	10:00	夏秋 知英	センター長	はじめのあいさつ
1	10:10	本田 愛美	農・生生・動物	トリプトファン経口投与後のラット扁桃体細胞間隙セロトニン動態の解析
2	10:35	堀内 恵美子	農・生生・化学	コラーゲンペプチド摂取が皮膚創傷回復過程に与える影響の生化学的検証
	11:00	休憩		
3	11:15	中村 健太郎	農・生生・化学	遺伝子導入メダカ作出のためのツール開発
4	11:40	祖父江 順	農・生生・応生	ミカンキイロアザミウマの光応答反応に関する研究
	12:05	休憩（昼食）		
5	13:05	石原 玄基	農・生生・応生	リバースジェネティクスによる <i>Bombyx mori macula-like virus</i> の解析
6	13:30	熊谷 直樹	農・生生・応生	植物ウイルスにおける2種の感染性全長cDNAクローン構築法
	13:55	休憩		
7	14:05	大平 若菜	農・生生・植物	MA包装がカーネーション鉢花の品質と袋内ガス組成に及ぼす影響
8	14:30	高森 啓介	農・生生・化学	抗真菌性シクロデブシペプチド、W493Aの化学合成
	14:55	休憩		
9	15:05	及川 学	工・物質環境化学	食虫植物ウツボカズラ消化液内共生細菌メタゲノムからの新規リパーゼ 遺伝子のクローニング
10	15:30	緒方 優二	工・物質環境化学	植物病原菌 <i>Pantoea ananatis</i> における菌体凝集のクオラムセンシング による制御
	15:55	休憩		
11	16:05	川上 泰生	農・生生・化学	微生物転写スイッチの機能に基づく有害金属バイオセンサーにおける検出時間短縮と可搬性能向上
12	16:30	大川 篤史	連合農	キクに感染するウイルスの遺伝子解析
	17:10	松田 勝	専任教員	おわりのあいさつ

修士学生は15分トーク10分質疑応答の予定です。

会の終了後、生協食堂にて交流会を開催します。

参加費は、教員3,000円、学生500円です。